

せんだい普及センターだより

BLOSSOM

Vol.89

令和8年2月25日発行



この手から生まれる、 地域の味

写真：(農) 仙台イーストカントリーの
味噌の仕込み作業

■トピックス

- ・みやぎ農業未来塾・経営者養成講座
- ・仙台地域農業経営セミナー

令和7年度プロジェクト活動紹介

次代を担う生産者の育成による梨産地活性化【令和5年度～令和7年度】

対象：JA仙台利府梨部会 部会員4人（同部会員61人）[利府町]

利府町の名産品である日本梨の産地再生に向け、若手生産者を重要な担い手として育成・支援を行いました。

今年度は7、8月に雨が少なく、「幸水」の肥大が今一つでしたが、台風もなく、利府梨の主力品種である「あきづき」は、品質・収量ともに良かったとの感想が多く聞かれました。

また今年度は親元就農や町外の新規就農者による梨園の維持・拡大の動きもありました。梨生産にかかわる地域おこし協力隊は3人となり、町内の梨農家からの信頼も増してきたことから、来年度からは新たな園地を任されることになりました。

これからも利府町・JAと連携し、産地振興を図っていきます。



▲若手生産者中心に結成している「Pear・カレッジ・りふ」の県外視察研修の様子

ねぎの次世代担い手育成による産地の強化【令和6年度～令和8年度】

対象：JA新みやぎあさひなねぎ部会 若手生産者5人 [大郷町、大和町]



▲ねぎ部会現地検討会の様子

JA新みやぎあさひなねぎ部会では、次世代の担い手育成が産地維持強化を図る上で重要となっていることから、栽培管理技術の向上や、ネットワーク形成を支援しました。

「ねぎ通信」の発行やSNSの活用、先進地視察研修等により、栽培管理技術や生産意欲の向上が図られ、猛暑や少雨など厳しい気象条件下でしたが、前年収量を上回る対象者もいました。

収穫期分散を狙いとした「春ねぎ」栽培試験では、7月上旬でも抽苔は見られず、次作では2名の導入につながりました。

今後ともJAや部会と連携し、次世代の担い手育成による産地の維持強化に取り組んでいきます。

ほ場整備を契機とした営農体制の整備【令和6年度～令和7年度】

対象：株式会社大輪（たいわ）[大和町]

（株）大輪は、農地整備事業により約50haの農地集積が見込まれており、農地利用の効率化や労働力確保等が課題となっています。

そこで、水稻乾田直播栽培の導入や営農管理システムを活用した大豆の団地化により、農地利用の効率化を図るとともに、高収益作物の安定生産のため、園芸品目の連作障害対策や品目別収支の整理を支援しました。

あわせて、経営理念の策定や専門家派遣による資金繰り指導を実施したことで、法人の経営手法等に関する知見が深まり、経営の安定化が進んでおり、今後も、地域農業の核として、活躍が期待されています。



▲経営内容に関する指導の様子

水稻乾田直播栽培技術の定着による大規模土地利用型経営体の基盤強化 【令和6年度～令和7年度】

対象：(有)ITO、(株)高橋グリーン、(農)アグリ今泉、(農)若木の里、みどりあーと山崎(株)

黒川地域で水稻乾田直播栽培（以下、乾田直播）に取り組む5経営体に対し、今後の経営面積拡大に向けて、乾田直播栽培の技術向上や、スマート農業技術の活用等を支援しました。

2年間の活動により、乾田直播栽培で重要な作業となる雑草防除の理解が進み、安定した収量確保につながりました。さらに可変施肥による生育ムラ改善等に取り組むなど、スマート農業技術活用の機運も高まっています。

これらの成果を踏まえ、管内生産者への波及を目的に、収量・品質確保のポイントについて講習会を開催しました。

また、乾田直播の栽培体系等をまとめた「事例集」を作成し、これから取り組む生産者への参考資料としていきます。



▲雑草防除の様子

Topics 1

みやぎ農業未来塾・経営者養成講座を開催しました



▲視察の様子

令和7年12月4日、仙台農業士会との共催で「共同販売」をテーマに開催し、農業者ら18名が参加しました。

仙台市内の先進的な生産者2名を視察し、任意組織による白菜の共同出荷やSNS活用の工夫、JA部会を通じた販売戦略や販路拡大の重要性について知見を深めました。

視察後の意見交換では共同販売の利点や課題について活発な議論が行われ、参加者からは農業者間の連携や情報収集の重要性を再認識したとの声が上がりました。

Topics 2

仙台地域農業経営セミナーを開催しました



令和7年12月18日、「『待ったなし!』農業法人の後継者確保・育成」と題し、円滑な事業承継と次世代の経営者育成を目的に開催したところ、11法人17名が参加しました。

松倉社会保険労務士の講義では、円滑な事業承継の進め方や、次世代経営者の心構えを学びました。また、事例として株式会社館島田ファームDeroから法人化の歩みや人材育成の経験等を伺いました。

参加者からは「採用予定者の育成に即応できる」との声が上がるなど、課題解決への意欲を再確認する有意義な機会となりました。



▲全体での意見交換の様子

普及センター現地活動情報を下記にて発信しています

「仙台管内農業普及現地活動情報」

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/wadai.html>



ブログ

「宮城の農業普及現場活動情報」

<https://ameblo.jp/miyagifukyu/>



おいしい!

楽しい!

近い!

仙台市近郊の気軽に行ける「摘み取りいちご農園」情報



仙台市内に摘み取り体験もできるいちご栽培施設が増えています。3月からはハウス内のいちごがたくさん採れるので、訪問して、新鮮ないちごを堪能してください。

いちごの摘み取りのほか、いちごのアイスやお菓子など加工品も購入できます。

天候により営業日、営業時間が変更になる場合がありますので、各摘み取り農園のホームページなどで最新の情報をご確認してからお出かけください。



▲摘みたていちごは格別です

(株)一莓一笑松森農場

- ・住所：仙台市泉区松森字城前
- ・営業時間：10時～16時（最終受付15時30分）
- ・定休日：毎週火曜日、臨時休業も有
- ・主な品種：「もういっこ」「やよいひめ」「紅ほっぺ」「とちおとめ」「すず」「かおり野」等



(株)燦燦園ベリープラネット農園

- ・住所：仙台市若林区上飯田天神
- ・受付：10時～15時（最終受付15時）
- ・定休日：毎週火曜日
- ・主な品種：「紅ほっぺ」「もういっこ」「かおり野」等



(株)まちワクファーム

- ・住所：仙台市泉区実沢宮東
- ・営業時間：10時～
- ・営業日：水・木・土・日曜日
- ・主な品種：「紅ほっぺ」「すず」「よつぼし」「とちおとめ」等



JRフルーツパーク仙台あらはま

- ・住所：仙台市若林区荒浜新
- ・営業時間：10時～16時
- ・定休日：毎週火曜日
- ・主な品種：「にこにこベリー」「もういっこ」等



旭日双光章を受章! (農) 仙台イーストカントリー 佐々木均代表理事



▲写真左が佐々木均氏（県農政部長表敬訪問）

令和7年秋の叙勲において、(農) 仙台イーストカントリーの佐々木均代表理事が、農業振興功勞により、旭日双光章を受章されました。

佐々木代表は、東日本大震災で甚大な被害を受けた際には、先陣に立っていち早く復興に向けた歩みを進め、地域農業再建への道標となりました。

また、長年に亘り、仙台市農業委員として地域農業の課題解決に向けて尽力されました。

これらの功績が称えられ、今回の受賞に至りました。

おめでとうございます。

表紙について

(農) 仙台イーストカントリーの味噌の仕込み作業

表紙の写真は、同法人の農産加工施設における味噌づくり風景です。

炊いた米に麹菌を揉みこみ、味噌の加工に欠かせない「米麹」を仕込むところから味噌づくりが始まります。

こうしてできあがった味噌は「神屋敷天然味噌」として、同法人の農家レストラン「おにぎり茶屋ちかちゃん」や、各地の直売所でも販売されます。



▲炊いた米に麹菌をふりかける作業

発行：宮城県仙台農業改良普及センター（仙台地方振興事務所農業振興部）

〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

TEL: 022-275-8320（地域農業班）

022-275-8410（先進技術第一班）

022-275-8374（先進技術第二班）

F A X: 022-275-0296（共通）

E-mail: sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

U R L: <https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

